

# 新たな劇場の基本計画の検討状況

## 1. 第1回 名古屋市新たな劇場の整備・運営等検討懇談会の開催概要

開催日時：令和6年3月19日（火）15時半～

開催場所：名古屋市公館レセプションホール

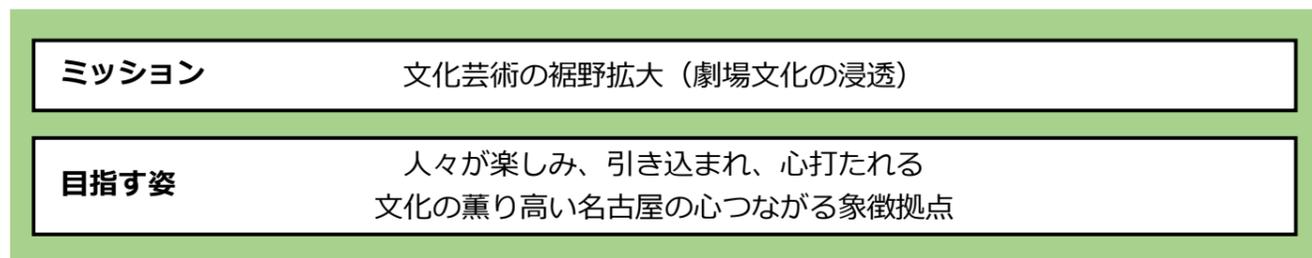
委員

氏名	専門分野	所属・役職等
福島 茂	まちづくり	名城大学都市情報学部 教授
勝又 英明	劇場建築	東京都市大学 名誉教授
林 健次郎	文化施設事業実務家	愛知県芸術劇場 広報・マーケティング部長
遠藤 けい	プロモーター	サンデーフォークプロモーション（株） コンサート本部長
梶田 美香	文化施策	名古屋芸術大学芸術学部 教授

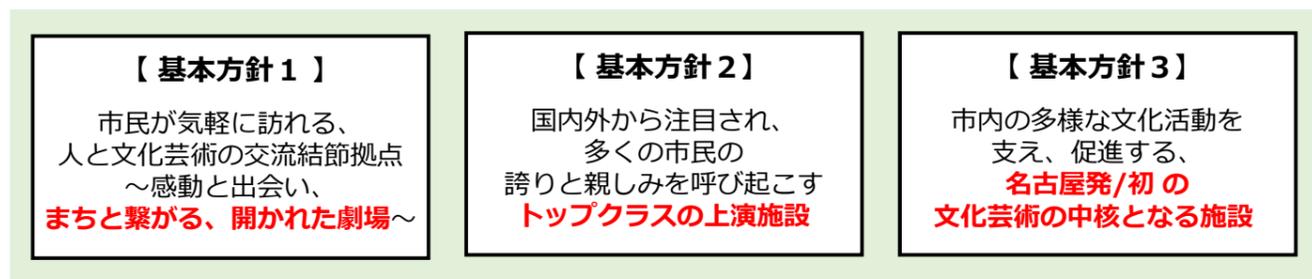
## 2. 懇談会説明資料（抜粋）

### ○新たな劇場の基本的な考え方

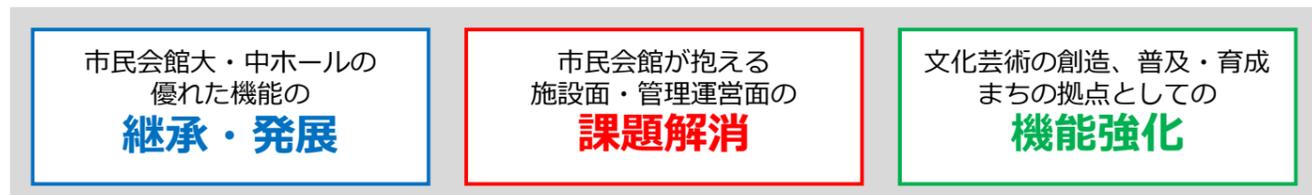
#### 【基本理念】



#### 【基本方針】



#### 【方向性】



#### 【機能強化のために目指すもの】



## 【新たに導入が必要な機能及び方針（案）】

劇場の開き方	機能及び方針（案）
アーティストに開く	・文化芸術の総合的な支援・育成のため、アトリエやギャラリー、コミュニティスペース等を設置 ・若いアーティスト等の制作支援やアーティストと市民、またアーティスト間の相互の交流促進を実施
市民に開く	・市民が、長期滞在できるような付帯施設（カフェ・ショップ等）の運営 ・歩道や広場等に沿って商業施設を配置することで、公演の無い時や、ホール利用者でなくとも気軽に施設利用が可能となり、劇場や周辺地域ににぎわいを創出 ・ロビー等の共用スペースにベンチ等を配置し、来館者の居場所を整備 ・共通ロビーやホワイエ等の共用スペースを貸し出し、作品展示、観光PR、物販等のイベントを開催
まちに開く	・共通ロビーを通り抜け可能な空間とし、アクセス性と回遊性を高めることでウォークアブルなまちの形成に寄与 ・建物内部と連続性のあるオープンスペースを整備し、憩いの場、交流の場として日常的に人々が滞在できる空間を形成 ・活動が外部から見える空間構成とし、まちに文化芸術の雰囲気とにぎわいを現す ・周辺の文化芸術施設等と連携し、金山エリア一体となって文化芸術活動を展開 ・文化芸術活動を屋外でも実施し、にぎわい創出と周辺地域へ文化芸術を浸透

### ○ホールの目指す姿と事業方針

#### 【第1、第2ホールを想定した事業】

- ・第1、第2ホールは現市民会館の利用状況を踏まえ、プロモーター等への貸館中心とします
- ・戦略的貸館事業として、これまで市民に発信できていなかった**上質かつ多様なコンテンツを積極的に誘致**していくことを目指します
- ・貸館事業とのバランスを図りながら自主事業の実施を検討することとし、主催のみならず、実演団体やプロモーター等と共催することで、幅広いニーズに応えられる鑑賞事業を実施します

#### 【第3ホールを想定した事業】

- ・第3ホールは、**貸館事業として市内ホール不足解消の役割を果たしながら、新たな劇場の独自性を発信するホール**として自主事業（自主・共催）枠を確保します（全体の約10%、30日間程度を想定）
- ・自主事業では、「共催」として先駆的な取り組みを実施している団体・施設と連携した事業を展開するほか、テクノロジー、スポーツ、ビジネス等の様々な領域の融合によるコンテンツの誘致・発信を検討します
- ・貸館事業では、主に現市民会館中ホールで利用の多い演劇公演や軽音楽での利用を想定します

## 3. 有識者の主な意見（敬称略）

### ○新たな劇場の基本的な考え方

- ・**アーティストだけでなく、制作者や舞台技術者にも開いた施設**にして、クリエイティブ・リンク・ナゴヤや市事業団なども交えて、文化芸術のエコシステムを促進する機関やオルグウェアをつくれると良い（林）
- ・新たなニーズに合わせて新しいものを作る良い機会。駅前との**一体的な開発等で若者が集まる街**に（遠藤）
- ・現状で練習施設が不足。**文化芸術の作り手育成、市民が集まれる機能、活動が周囲から見える等が必要**（勝又）
- ・（市民会館）単独で考えるのではなく、**連携することで充実を図っていく観点が必要**（梶田）
- ・演目絞り込みによる**特徴化と多目的ニーズのバランス**等、市民会館の役割を全体の中でどう整理するか（福島）
- ・**各ホールの演目ジャンルをある程度決め、ターゲット整理**すべき。絞り込んでも多目的に対応可能（勝又）

### ○ホールの目指す姿と事業方針

- ・基本構想時の懇談会では、市民会館と県芸との役割分担として市民会館はポピュラリティのある演目対応が良いという議論があった。**現在の特性を継承し、広く使いやすいもの**を市民会館では考えた方がよい（遠藤）
- ・自主事業で採算をとるのは一般的には難しい。**採算性より市民に届けたいコンテンツを提供するという公共的な役割**で納得してもらうことになる。収益優先での運営はどんどん大衆化していくのも課題（勝又）
- ・若者がアートで生計を立てるためには鑑賞者の育成、文化芸術に関心の高い市民の醸成が必要。自主事業はその循環を創出する第一歩であり、**専門人材・アーティスト・鑑賞者育成など多面的な取り組みが必要**（梶田）
- ・すでに名古屋市に蓄積された知見をもとに、**クリエイティブ産業における人材のグランドデザイン**を上位計画である文化芸術推進計画の中で謳っていく必要がある（林）
- ・旧ボストン美術館との連携、即ち**金山駅南北の連携**、美術とアートの連携に向け、**両者を結ぶような機能や仕掛け**を考え、相乗効果があるまちづくりを行うことが必要（福島）